

# すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 7

平成29年12月14日発行

発行元:塾熟出版(事務局)

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

高円寺コース/第5号

## すぎなみ大人塾高円寺コース 高円寺でカフエ まちなかに対話する場をつくってみよう

11月30日  
@杉並区立  
杉並第四小学校  
図書室

受講生:20名

第5回 「学びの拠点 「学校」をひらく」杉並第四小学校の高橋校長先生、高円寺純情商店街の吉田さん、高円寺地区地域教育推進協議会事務局長増田さんから学校と地域の関わりについてお話いただきました。

今回会場となりました杉並第四小学校は大正15年開校で創立93周年。生徒数は257人。平成16年から併設する高円寺北子供園との幼保小連携教育、平成19年度からは高円寺中学校との小中一貫教育を実施しています。

小中一貫教育では、5年生、6年生の教室が高円寺中学校にあり、5・6年生は週に1回高円寺中で1日を過ごします。今年で7年目の活動で、年11回実施しています。高円寺中の運動会には杉四小の全学年が参加します。他にも、わくわくフェスティバルで5・6年生と中学生と一緒に合唱をしたり、中学校の先生が杉四小に出前授業する取組があります。

学校が関わりを持っている子供園・PTA・教育委員会・町会・児童館などの様々な機関をつないでいるのが「学び支援本部(一般的には学校支援本部)」です。PTAとは別物であり、地域と学校をつなぐための組織です。平成18年に杉並区に学校支援本部ができ、平成22年には全校に広まり、今ではそれぞれの学校の学習プランに沿って行われています。杉四小には、杉四小・高円寺中学学び支援本部があり、小中でコラボしながら、以下に挙げるような土曜授業・校外学習のコーディネート等を行っています。

「食育ミュージカル」は山形県の高校とのコラボで行うもので、今年で6年目。高校生が食育をテーマに劇をしてくれるもので、子どもたちも喜んで見ているそう。「生き方を学ぶガイダンス」はゲストスピーカーに地域のことを話してもらう活動で、「高円寺かるた」や「杉四カンパニー」のガイダンスにもなります。「高円寺かるた」は3年生が高円寺のまちを見て回り、かるたを作る活動です。「杉四カンパニー」は自分たちでものをつくって売る活動です。商品案を作成、評価会で保護者や地域の人たちにプレゼンし、販売商品を決定。融資を取り付け、宣伝、商店街など地域の中で出店・販売、と本物の企業さながら。今年で6年目になり、高円寺オリジナルポーチを売ったそう。売上個数は500個、金額にして21万円!利益は子ども達が用途を決め、ユニセフや緑の基金への寄付など社会貢献に使います。5年生の米づくりでは、山形県飯豊町のJAの職員さんが来校、指導してくれます。収穫まで1年間を通じた活動です。他にも、落語の授業や、「サイケデリーさん」(高円寺商店街連合会の公式キャラ)をモチーフに高円寺のまちについて考える学習、高齢者や障害者とのふれあい集会などがあります。他にも学び支援本部の尽力で、飯豊町にて農作業体験や民泊・自然体験活動もしているそう。

受講生の中には、学校で落語の講師として伝統芸能や話し方を教える授業をしている方もおり、その時の体験もお話していただきました。

「いいまちはいい学校をつくる。学校づくりはまちづくり」という言葉のように昔から地

〇すぎなみ大人“熟”してる?の発行にあたって〇 この新聞は事務局スタッフの視点と記録に基づいて作成しております。



杉並第四小学校  
高橋校長先生



高円寺純情商店街  
吉田善博さん



高円寺地区地域教育  
推進協議会事務局長  
増田 由巳子さん



域とのつながりが強く、学校内外の教育で子どもたちは地域の方々のお世話になっています。杉四小は学びの拠点であり、地域の拠点、そして駅近な立地もあり、高円寺のイベントの会場などとしても地域との関わりがあり、これからも地域や保護者の方とのつながりをもって取り組んでいきたい、とお話いただきました。

現役保護者で純情商店街理事である吉田さんは学び支援本部の学校地域コーディネーターとして、子どもたちの学びを支援しています。商店街では、中学2年生の職場体験の受け入れをしており、純情商店街だけで全生徒の受け入れが可能なほどの協力があるそう。杉四カンパニーなどで、地域の人たちと子どもたちの関わりがあるため、地域で子どもを育てていこうという機運があるようです。子どもたちのつくった飯豊町のお米とそのお米で作ったお酒を、純情商店街だけのブランド商品として女子美大生のデザインで作成・販売する試みもしているそう。今年度はその収益で子ども達を飯豊町の体験教室に連れていきました。

高円寺地区地域教育推進協議会の事務局長で、青少年委員や学校地域コーディネーターをされている増田さんは、「高円寺うきプロジェクト」を活動の愛称として、児童館や商店街、学校、公共施設などで行われる子どもたちに関わるイベントをまとめたイベントカレンダーを発行しています。学校を取り巻く地域が子どもたちにとって居心地が良くなるよう、活動しています。イベントカレンダーは、掲載施設やHPでも入手できます。

今の学校は、昔では考えられないくらい地域に開かれていて、校内に地域の人がいるのが日常風景となっています。キャリア教育などで地域の様々な人にご協力いただく機会も増えています。杉並区では、学校ごとに、学校と地域をつなぐネットワークがあるそうなので、子どもたちのため、学校のために何かしたいという方は、学校の先生や学校支援本部、青少年委員の方々にお話してみましょ。



## 受講生の考えた「学校de〇〇カフェ」

今回も後半はグループワークでした!

「学校で防災体験」商店街で子どもたちが集めた段ボールで段ボールハウスを体育館につくる。

LED ライトとペットボトルで簡易照明をつくる。

「バランスデリごはん」既存のコンビニごはんを、いかにバランスよく体にいい献立にできるかを考えて買うことを体験する。小学生を対象に低学年と高学年を組み合わせで行う。体験後はよりよいバランスにするにはどうしたらいいかをみんな話し合う。

「学校とどうしたら関わることができるかを考えるカフェ」学校側と関わりたい人とのマッチングができてない。

ポッチャ、逆さカフェ（親がお客、子どもが店員）、フォークダンスカフェなどというアイデアが、今回のような話し合いの場があれば出てくるのではないかな。

「子どもがレストランの店員になって、大人が食べにいく。」子どもたちのサービスの頑張りに応じて大人には料理の値段をつけてもらう。普段子どもと触れ合うことがない人も子どもに触れあう機会になったらいい。

## 受講生の皆さんの感想

- ・学校の裏側が見られて興味が湧いた。・みんなで一つの企画を立てるのが難しかった。
- ・杉並区の教育が充実しているイメージでしたが、杉四小がこれほどたくさんのつながり、かかわりを大切にしていることに感激しました。こちらで学べる児童たちは幸せですね。
- ・選挙で杉四小に来たことがあるだけで、初めて図書室に入りました。自分の時代とは全く違うコミュニティができたことに驚きました。グループワークのメンバーと息が合い、楽しくアイデア出してきました。楽しくできないといいアイデアは生まれななしみじみ思いました。

## ★高円寺コース 運営メンバーのご紹介★

高円寺コースは、大人塾卒業生や高円寺地域の方々にご協力いただきながら企画・運営しています。

川上和宏

群馬県生まれ、33歳。

学校や大学ではない市井の中に「学び対話する場」をつくりたい!と、29歳で友人とコミュニティカフェを起業・経営。趣味：旅/市民活動/各申請書を書くこと。

平塚 圭子

産後ドゥーラという産前産後ケアを仕事にし、おかあさんの暮らしのサポートをしています。好きなことは山登り、おいしいものを食べる!人とのつながり、パンづくりに読書。始めたばかりのギターを毎日練習するのが目下の楽しみです。